

1. 実施機関名

国立大学法人島根大学

2. 企画名

人類の課題を解決する科学技術人材育成プログラム
—島根で学びブレイクスルーを起こせ!—

3. 総合評価コメント

初年度は応募者数が目標を達成できなかったが、2年目はコーディネータとサブコーディネータが学校に直接プログラム説明するなど工夫を講じることで大幅に応募者を増やすことができた。プログラム実施・運営に関しての課題を丁寧に把握して、改善に取り組んでいる点が良い。学内体制の整備が進み、第一段階プログラムについては多数の部局から興味深い講義が提供されている点が評価できる。遠隔地から受講生が参加できるように、初年度から対面とオンラインでの指導体制を用意した点も良い。

一方、第二段階プログラムについては熱心な指導が行われていることが推察されるが、数値目標に関わる生徒の達成はあまり進んでいないように見受けられる。実施機関内のジュニアドクター育成塾との連携や近隣他機関、企業との連携についてもより実質的なものとなるよう検討が必要である。また、コンソーシアムの設立については、計画から1年遅れているため喫緊の課題として優先的に取り組む必要がある。今後は鳥取大学や島根県立大学との連携を具体的に進め、より一層、幅広いテーマと指導を受講生に与えることができる体制構築に取り組んでいただきたい。地理的に山間部の多い山陰地域での2年目の取り組みということで、今後に期待するところである。